

1. 初期整備（改修工事）の範囲外だが、事業期間中に修繕・更新の実施を本書で規定したもの

設置場所	対象物	設置年	その諸元
建築物			
アスファルト舗装			
第3駐車場周辺	カラーアスファルト舗装 2,016 m ²	平成元年度	劣化状況に応じ修繕 修繕にあたっては、できるだけ溝状ではなく、見映え良く面的に見切りをとって広範囲を張り替えること。
バス駐車場	カラーアスファルト舗装 1,407 m ²	平成元年度	
1号館東搬入ヤード	カラーアスファルト舗装 50 m ²	平成元年度	
4号館西搬入ヤード	カラーアスファルト舗装 240 m ²	平成元年度	
園路（オアシス広場）	豆砂利樹脂舗装＋開粒アスコン 2,352 m ²	平成元年度	
外構全体	アスファルト舗装 当初補修約 500 m ² 以外	平成元年度 平成6年度	
石貼り・タイル工事			
中央広場石貼り	花崗岩 5,120 m ²	平成6年度	劣化状況に応じ修繕
1号館と4号館間搬入経路床	磁器質無釉タイル 92×92×8.5 360 m ²	平成6年度	劣化状況に応じ修繕
1号館主催者控室南通路床	磁器質無釉タイル 92×92×8.5 55 m ²	平成元年度	劣化状況に応じ修繕
1号館南屋外通路	花崗岩	平成6年度	劣化状況に応じ修繕
2号館北側1階床	磁器質無釉タイル 92×92×8.5	平成6年度	劣化状況に応じ修繕
3号館1階床	磁器質無釉タイル 92×92×8.5	平成6年度	劣化状況に応じ修繕
4号館北側床	磁器質無釉タイル 92×92×8.5	平成6年度	劣化状況に応じ修繕
4号館北側アスファルト下地	磁器質無釉タイル 92×92×8.5	平成6年度	劣化状況に応じ修繕
北側周辺歩道タイル	100角タイル（ピアッツァ）	平成元年度	劣化状況に応じ修繕
北側周辺歩道タイル	100角タイル（ピアッツァ）	平成元年度	劣化状況に応じ修繕
正面広場排煙口前床	花崗岩	平成元年度	劣化状況に応じ修繕
西側歩道橋床タイル	100角タイル	平成元年度	劣化状況に応じ修繕
第3駐車場周辺床タイル	100角タイル	平成元年度	劣化状況に応じ修繕
4号館西側搬入口	100角タイル	平成6年度	劣化状況に応じ修繕
グレーチング工事			
中央広場グレーチング	W450 一式	平成元年度	劣化状況に応じて修繕
正面広場北側車路グレーチング	W300 一式	平成元年度	劣化状況に応じて修繕

設置場所	対象物	設置年	その諸元
1号館東側搬入ヤードグレーチング	W450 一式	平成元年度	劣化状況に応じて修繕
4号館北側グレーチング	W450 一式	平成元年度	劣化状況に応じて修繕
4号館西搬入ヤードグレーチング	W300 一式	平成元年度	劣化状況に応じて修繕
外構雑工事			
ポール型車止め	ステンレス製、チェーン共 手動昇降式×45本 固定式×4本 一式	平成元年度	劣化の進行に応じて順次更新
消防活動空地表示	トラフィックペイント 一式 表示鋲 一式	平成元年度	劣化の進行に応じて順次更新
プラットホーム ショックコーナー	合成ゴム製 一式	平成元年度	劣化の進行に応じて順次更新
正面広場 (モニュメント： 風の弓)	ステンレス製 一式 心柱φ480、外柱φ600×H7,500 ベース：φ800～1,600の5段で H=500	平成元年度	劣化状況に応じ修繕
国旗用ポール (正面広場)	52本	平成元年度	劣化状況に応じ修繕
館名塔(敷地北東)	トラス柱、鋼板貼り h=約 5m 一式	平成元年度	劣化状況に応じ修繕
駐車場守衛ボックス	鋼板 t=1.6(表面処理) L3,500×D1,300×H2,385 ガラス窓、カウンター付 一式	平成元年度	劣化の進行に応じ修繕
屋根付歩廊			
エレベータシャフト屋上	露出アスファルト防水 10㎡	平成元年度	劣化の進行に応じて順次更新
同上屋根飾り鉄骨	H150×150×7×10 38m 亜鉛メッキフタル酸塗装	平成元年度	劣化の進行に応じて補修
同上屋根笠木	アルミ笠木 フッ素樹脂塗装 14m	平成元年度	劣化の進行に応じて順次更新
外壁	磁器質モザイクタイル 47㎡	平成元年度	劣化の進行に応じて補修
案内板	内照式 W1500×H1700 1台 枠：アルミ焼付塗装	平成元年度	劣化の進行に応じて順次更新
敷地内屋根付歩廊(デッキ部分)	RC造：長さ約60m、幅約11.5m 柱：φ850 コンクリート化粧打ち放し 床：磁器質タイル貼り 手摺：ステンレスφ75×45×2.0 手摺子：ステンレス FB65×12@1,000 幕板：パンチング 一式 身障者用誘導ブロック 照明設備：ポール型街路灯×8 消火設備：屋外消火栓ボックス (火報PBL組込)×4 消火器×3	平成元年度	劣化の進行に応じて補修 照明設備はLED型で更新(8本中7本を更新し、使用していない横断橋最寄りの1本は撤去) 消火設備は更新
敷地内屋根付歩廊(屋根部分)	屋根：アルミハニカムパネル 柱：鋼管、耐火塗装 樋：アルミ型材 照明設備：LED6.3W・柱毎に設	令和元年度	劣化の進行に応じて補修 照明設備は更新

設置場所	対象物	設置年	その諸元
	置		
敷地外屋根付歩廊（デッキ部分）	床：磁器質タイル 外装：磁器質モザイクタイル 柱型：コンクリート化粧打放し EV ホールシャフト腰：花崗岩 目隠しフェンス：スチールパンチング PE 横断橋軒天：スパンドレル 身障者用誘導ブロック 照明設備：ポール型街路灯×7 案内板：アルミパネル焼付塗装 シルク印刷（内照式） 消火設備：消火器×3	平成元年度	劣化の進行に応じて補修 照明設備は LED 型で更新 案内板、消火設備は更新
敷地外屋根付歩廊（屋根部分）	屋根：アルミハニカムパネル 柱：鋼管、フッ素系樹脂塗装 樋：アルミ型材 照明設備：LED ブラケット×34 放送設備：ホーンスピーカ×2	令和元年度	劣化の進行に応じて補修 照明設備、放送設備は更新
歩道橋 （駐車場西ゲートの上の敷地内屋根付歩廊から南に向かって降りる歩道橋）	床：磁器質タイル貼り 側面：鋼板 SOP 軒天：デッキプレート SOP 手摺：鋼管 SOP 手摺子：鋼管 SOP	平成元年度	劣化の進行に応じて補修
SS	ボックス、スラット：SOP 杵：ステンレス 一式	平成元年度	劣化の進行に応じて順次更新
SD	フタル酸樹脂エナメル塗 一式	平成元年度	劣化の進行に応じて順次更新
AW	ジュラクロン焼付 一式	平成元年度	劣化の進行に応じて順次更新
幕屋根付歩廊	柱、梁：鋼管フッ素系樹脂塗装 幕屋根：不燃膜材ターポロン 柱脚部：SUS 厚 1.5 巻きモルタル充填 樋：SUS 製箱形巾 100 縦樋：SUS 製 φ60 照明設備：LED 建築化照明 L600 タイプ×44 台	平成元年度	劣化の進行に応じて補修 照明設備は更新
アスファルト防水			
正面広場	アスファルト防水	平成元年度	劣化状況に応じ修繕
1号館北側2階車路	アスファルト防水	平成元年度	劣化状況に応じ修繕
センチュリーホール南側2階デッキ	アスファルト防水	平成元年度	劣化状況に応じ修繕
イベントホール南側2階デッキ	アスファルト防水	平成元年度	劣化状況に応じ修繕
1号館7階レストラン金属屋根下メンブレン防水	アスファルト防水	平成元年度	劣化状況に応じ修繕
電気設備			
1号館アトリウム	エレベーター4号機、5号機	平成29年度	乗用 15人乗り 45m/分 全面更新
1号館西側	エレベーター8号機	平成29年度	乗用 15人乗り 45m/分 全面更新

設置場所	対象物	設置年	その諸元
歩行者通路	エレベーター10号機	平成29年度	乗用 11人乗り 45m/分 全面更新
1号館	LED間接照明 アトリウム周辺のバルコニー下（1階の東側及び北側、2階の東側、3階の南側）、同1階管理事務所、同3階会議室前のロビー、同4階会議室前のロビー、同4階レセプションホール東西両側低天井部	令和元年度	既設同等で更新
2号館	LED間接照明 1階展示室の間接照明、2階会議室（221、222、223、224、225）の間接照明、3階会議室（231、232、233、234）の間接照明	令和元年度	既設同等で更新
4号館	LED間接照明 3階会議室（431、432、433、434、435、436、437、438）	令和元年度	既設同等で更新
空調設備			
3号館	地下1階厨房系統空調機 AC-CO2	平成30年度	14200m ³ /h×539Pa 冷房 260.47kW 暖房 255.81kW 更新
4号館	1・2階控室（南）系統空調機 AC-W23	平成30年度	4700m ³ /h×392Pa 冷房 39.53kW 暖房 26.74kW 更新
	1・2階控室（北）系統空調機 AC-W24	平成30年度	1900m ³ /h×294Pa 冷房 23.26kW 暖房 16.28kW 更新
	全熱交換器 HXR-W3	平成30年度	静止型 天吊ダクト型 効換効率 50%以上 600 CMH×150Pa 更新
	3階会議室（12）～（16）系統マルチパッケージ型空調機	平成30年度	室外機×5 APM-W31～35 冷房 28.0kW、暖房 31.5kW 室内機×5 APi-W3a 5HP 天井埋込ダクト型 室内機×10 APi-W3b 2.5HP 床置ローボイ型 更新
4号館	3階プレスルーム系統マルチパッケージ型空調機	平成30年度	室外機×1 APM-W36 冷房 14.0kW、暖房 14.0kW 室内機×2 APi-W3b 2.5HP 天井埋込カセット型 更新
衛生設備	特になし		初期整備にて一式更新
舞台機構設備	特になし		初期整備にて一式更新
舞台照明設備	特になし		初期整備にて一式更新
舞台音響設備			
センチュリーホール	ワイヤレスマイク（スプリアス規定により更新済みの800MHzB帯送信機は、既設流用としたもの）	令和3年度	既設同等で更新
イベントホール	ワイヤレスマイク（スプリアス規定により更新済みの800MHzB帯送信機は、既設流用としたもの）	令和2年度	既設同等で更新
国際会議室	ワイヤレスマイク（スプリアス	令和3年度	既設同等で更新

設置場所	対象物	設置年	その諸元
	規定により更新済みの800MHzB帯送信機は、既設流用としたもの)		
レセプションホール	天井埋込スピーカ	平成20年度	既設同等で更新(配管配線とも)
	ジャック盤A(第1調整室)	平成20年度	既設同等で更新(配管配線とも)
	ジャック盤B(第2調整室)	平成20年度	既設同等で更新(配管配線とも)
	ワイヤレスマイク(スプリアス規定により更新済みの800MHzB帯送信機は、既設流用としたもの)	令和2年度	既設同等で更新
1号館3F 131+132、133+ 134会議室	天井埋込スピーカ、ジャック盤C、D	平成20年度	既設同等で更新(配管配線とも)
	ワイヤレスマイク(スプリアス規定により更新済みの800MHzB帯送信機は、既設流用としたもの)	令和2年度	既設同等で更新
1号館3F 135会議室	ポータブルアンプ、ワイヤレスマイク、ピンマイク	令和元年度	既設同等で更新
1号館4F 141+142会議室 機器	天井埋込スピーカ	平成20年度	既設同等で更新(配管配線とも)
	ジャック盤C、D	平成20年度	既設同等で更新(配管配線とも)
	ワイヤレスマイク(スプリアス規定により更新済みの800MHzB帯送信機は、既設流用としたもの)	令和2年度	既設同等で更新
1号館4F 143会議室 機器	ポータブルアンプ、ワイヤレスマイク、ピンマイク	令和元年度	既設同等で更新
2号館1F 211~212展示室	ワイヤレスマイク(スプリアス規定により更新済みの800MHzB帯送信機は、既設流用としたもの)	令和2年度	既設同等で更新
2号館1F 213会議室	ポータブルアンプ、ワイヤレスマイク、ピンマイク	令和元年度	既設同等で更新
2号館2F 221会議室 機器	ワイヤレスマイク(スプリアス規定により更新済みの800MHzB帯送信機は、既設流用としたもの)	令和2年度	既設同等で更新
2号館2F 222~223会議室	ワイヤレスマイク(スプリアス規定により更新済みの800MHzB帯送信機は、既設流用としたもの)	令和3年度	既設同等で更新
2号館2F 224会議室	ワイヤレスマイク(スプリアス規定により更新済みの800MHzB帯送信機は、既設流用としたもの)	令和3年度	既設同等で更新
2号館2F 225会議室	ポータブルアンプ、ワイヤレスマイク、ピンマイク	令和元年度	既設同等で更新
2号館3F 232~233会議室	ワイヤレスマイク(スプリアス規定により更新済みの800MHzB帯送信機は、既設流用としたもの)	令和3年度	既設同等で更新

設置場所	対象物	設置年	その諸元
2号館 3F 234 会議室	ワイヤレスマイク（スプリアス規定により更新済みの800MHzB帯送信機は、既設流用としたもの）	令和3年度	既設同等で更新
4号館 3F 431～432 会議室	ワイヤレスマイク（スプリアス規定により更新済みの800MHzB帯送信機は、既設流用としたもの）	令和3年度	既設同等で更新
4号館 3F 433 会議室	ポータブルアンプ、ワイヤレスマイク、ピンマイク	令和元年度	既設同等で更新
4号館 3F 435 会議室	ポータブルアンプ、ワイヤレスマイク、ピンマイク	令和元年度	既設同等で更新

※ 上表は、主要な対象を列挙したものであり、提案段階においては事業者が自ら調査した内容に基づき提案すること。

2. 初期整備（改修工事）で更新するが、事業期間中に再度更新が発生すると予想されるもの

設置場所	対象物	設置年	その諸元
外構工事	不具合の発生した部位、機器		
建築工事	下記の他、不具合の発生した部位		
吹付タイル	不具合が発生した場合に限る 原則として更新する際は 20 年間もつものを選定するよう努力する		既設同等
塗装工事	外部の塗装		既設同等
電気設備	下記の他、不具合の発生した設備		
1号館	直流電源装置	平成 25 年度	シール型鉛蓄電池(HS-E)900AH 更新
4号館	直流電源装置	平成 21 年度	シール型鉛蓄電池(HS-E)1200AH 更新
空調設備	不具合の発生した設備		
衛生設備	下記の他、不具合の発生した設備		
移動式粉末消火器	更新期限の来たもの一式		既設同等
舞台機構設備	下記の他、不具合の発生した機器		
センチュリーホール	吊物制御盤のインバータ、PLC 等の電子部品	平成 18 年度	部品交換
イベントホール	吊物制御盤のインバータ、PLC 等の電子部品	平成 19 年度	部品交換
白鳥ホール	吊物制御盤のインバータ、PLC 等の電子部品	平成 30 年度	部品交換
舞台照明設備			
センチュリーホール	不具合の発生した機器	平成 16 年度 平成 21 年度	適宜修繕もしくは更新
イベントホール	不具合の発生した機器	平成 19 年度	適宜修繕もしくは更新
白鳥ホール	不具合の発生した機器	平成 6 年度	適宜修繕もしくは更新
国際会議室	不具合の発生した機器	平成 6 年度	適宜修繕もしくは更新
レセプションホール	不具合の発生した機器	平成 元 年度	適宜修繕もしくは更新
舞台音響設備			
センチュリーホール	不具合の発生した機器	平成 13 年度	適宜修繕もしくは更新
イベントホール	不具合の発生した機器	平成 17 年度	適宜修繕もしくは更新
白鳥ホール	不具合の発生した機器	平成 21 年度	適宜修繕もしくは更新
国際会議室	不具合の発生した機器	平成 6 年度	適宜修繕もしくは更新
レセプションホ	不具合の発生した機器	平成 19 年	適宜修繕もしくは更新

ール		度	
諸会議室	不具合の発生した機器	平成 27 年 度	適宜修繕もしくは更新
映像機器	不具合の発生した機器	平 成 25~28 年	適宜修繕もしくは更新
全館の建築工事 と各設備工事	不具合の発生した部位、機器 等		上記にない部位もしくは機器でも、消耗もしくは 寿命により処置が必要になったものは、適宜、修 繕、交換等を行うこと。 公称耐用年数が 20 年以下のものでも、その機器 の不具合により重大な事故となる可能性のない ものは、事後保全を原則とする。

※ 上表は、主要な対象を列挙したものであり、提案段階においては事業者が自ら調査した内容に基づき提案すること。